クラーク博士著細貝貞子譯補松井監修序

最新刊

少年少女 祈の栞

菊半截美裝 定價金二十錢
小供の爲の自由祈禱

神學博士ヒウ・ゼ・コオス著吉田菊次郎譯

最新刊

コリント後書註解

四六判布裝 定價一圓三十錢

獨逸の大學者 新刊

聖書

東京神田錦町一丁目一番地 振替東京五六八四番

◆ワーゲマン二大名著 邦譯完成◆

シマゲーワ 景氣變動論

京都帝大教授 經濟學博士 小島昌太郎 監修 邦譯【新刊】 菊判四五〇頁 定價三円五十錢 送料二十二錢

(既刊) ワーゲマン 世界經濟と景氣變動機構 菊判四三〇頁 定價三円 送料二十二錢

(既刊) ワーゲマン 國民經濟組織の缺陷と世界恐慌 菊判四〇〇頁 定價三円 送料二十二錢

右書はワーゲマン博士の代表的名著 Konjunkturlehre及びStruktur und Rhythmus der Weltwirtschaft の邦譯であつて、「景氣變動論」は前者の完譯であり、「世界經濟機構と景氣變動」と「國民經濟組織の缺陷と世界恐慌」とは後者の前編及び後編の邦譯である。

内容目錄進呈 東京神田 聖橋通 雄風館書房 電話神田一四一一番 振替東京五六八四番

清新六月號賣發

英語研究

英學生・英學者諸賢の座右へ！

オールダ・スハクスリ……富田彰
マクベスの考察(グリアスン)……長澤英一郎
デイ・スイ・マレイ概論……藤田孝飛
英國文藝界月次通信……ブランデン
現代英文學研究資料(その六)……矢野峰人
成年期のブロウドウエイ……金子倚一
富士山(漱石作)……西村獺
小泉八雲書誌……市河三喜
米利堅新聞考……富田義介
大戰後の英語に就て……鈴木重威
新語新解……相良左
現用英語の文法的吟味……佐々木學
英文法上の疑義……塚川三郎
不況の中に於ける景氣の回復か……大原英二
日本に對する偏見(デイロン)……金生寅三
ドイツ語講座……大山定一
フランス語講座……河盛好藏
和文英譯の講評と新課題……神崎保太郎
ボオテイアスのウインダム・ルイス論……WT・E・D
グリーンの「英國民小史」など……阿藤頼母
ベイカアとニコル父と娘……百合岡
英詩文の鑑解……朱門

巻末特輯 (1)シンクレア・ルイス……高垣松雄 (2)バビット(ルイス作)……佐藤東四郎 (3)アン・ヴイカアズ……鶴島鎮正

定價五拾錢(送料一錢五厘) 毎ケ年二・八・一〇

東京富士見町六 研究社 振替東京一〇八八二

英語文學講座

編輯顧問

市河三喜 岡倉由三郎 齋藤勇 野上豐一郎 森田草平

豫約規定

回數 十六回、毎回平均原稿約三百五十頁。
體裁 菊版。
特徴 ポイント活字。製版高雅。硬紙及樣紙。各頁日分冊。廣入。
金額 一、毎月拂 金壹圓(五拾錢分)
二、半期拂 金拾壹圓(八拾錢分)
三、全期拂 金貳拾(十六圓分)
申込方法 五月末日までに豫約申込金壹圓(送料別)を郵へ御申込みのこと(最後壹圓に充當)

英語文學

締切 五月末日限

内容見本贈呈 附、イギリス社會文藝年表 アメリカ文藝地圖

集募約豫 配本開始

イギリス文學史
1封建時代よりエリザベス朝迄 竹友藻風
2十七・八世紀 平田禿木
3十九世紀 西脇順三郎
4二十世紀 久保田万太郎
アイルランド文學史 西脇順三郎
英文學研究法 高野斐太郎
イギリス散文文體の發達 福原鱗太郎
英米大衆小說 松本泰
イギリス短篇小說 阿部知二
アメリカ短篇小說 龍口直太郎
英米の劇と戲曲 日高只一
英詩發達史 寺井泰男
1ロマンティシズム以前 大和資雄
2ロマンティシズム 井上勇
英詩韻律の研究 大和資雄
イギリス文藝評論史 井上勇
イギリス社會的世評論 井上勇
イギリス社會的批評論 井上勇
イギリス・社會思潮 井上勇
アメリカ・プロレタリア文學 中野好夫
アメリカ・プロレタリア文學 宮島新三郎
イギリスの社會的背景 岡倉由三郎
イギリス思想 藤代素人
イギリスの宗教思想 藤代素人
英文學とリアリズム 中野好夫
新心理主義の文學 福永武彌
精神分析と英文學 福永武彌
現代英米文學雜誌の紹介 長谷川誠也
英文學と日本 長谷川正身
大陸文學と英文學 西脇順三郎

!!だれこは 器武の者業職的知

項目と執筆者

語學篇

英語學概論……市河三喜
言語學……小林清一
文法……小林清一
修辭……小林清一
英語學……小林清一
音聲學……小林清一
英語教授法……寺西武夫
英文學……小日向定次郎
英語……佐藤清一郎
名詞・代名詞……佐藤清一郎
形容詞・冠詞……佐藤清一郎
動詞・助動詞……佐藤清一郎
前置詞……佐藤清一郎
接續詞……佐藤清一郎
英文法用語解說……佐藤清一郎
英語修辭法……佐藤清一郎
古代英語……石黒魯平
中世英語……厨川文夫
近代英語の成立……厨川文夫
日常英語……中島文雄
大戰後の英語……小野健人
アメリカ語研究……久野朔郎
アングロ・アイリシュ……重見博
ペイシックの研究……富田義介
英文學に現はれた地方語の研究……勝俣銓
商業英語……石黒魯平
新聞英語……佐々木能理夫
トーキー英語……花岡定一
海洋英語……伊地知純正
單語研究……長澤英一郎
英詩構文の研究……須藤吉郎
英語用語研究……石井一郎
慣用語研究……石井一郎
和文英譯の研究……南部重孝
英詩の語彙と語法……佐々木信綱
英詩與書類の解說……佐々木信綱
國語に及ぼした英語……渡邊半太郎
英語手紙の書方……渡邊半太郎

英語便語集……渡邊半太郎
英語名句集……渡邊半太郎
ラテン・オートキー・蓄音器による英語學習……本間願彦
ギリシヤ語初步……秋山重彦
ラテン語初步……黒田巍

文學篇

英文學としての英譯聖書……水野清太郎
植民地文學……關原存男

鑑賞篇

鑑賞の研究……木村毅
鑑賞の研究……村上勇
詩……伊藤整平
詩……澤村寅二郎
話……宮武雄
ギリシヤ・ラテン文學……松村常夫
神話……關口存男
英米の制度・風俗研究……山本光雄
1歴史……高橋清一郎

2現代篇

名著解說篇

英國の部

チヨーサ……カンタベリ物語……中山竹二郎
スペンサ……仙女王……大和資雄
シエイク(ハムレット・ヘンリ四世)……本多顯彰
シビアン(リヤ王・天正遺文・歷史)……北村常夫
ベルトン……失樂園……中西太郎
S・リチヤドソン……クラリツサ……倉長清
ハロウ……佐藤清
フイールディング……トム・ヂヨウンズ……石田憲次
スターン……トリストラム・シヤンディ……千葉勉
ゴウルドスミス……ウエイクフイールドの牧師……野上豐一郎
オースティン……自負と偏見……三浦順
コウルリツヂ……文學論……工藤好美
C・ラム……エリア隨筆集……平田禿木
ワーズワース……序詩……北村常夫
ECブロンテイ……ヂエイン・エア……十一谷義三郎
ブロンテイ……嵐が丘……大和資雄
ギヤスケル……メアリ・バートン……矢野峰人
ディケンズ……ピクヰツク物語……西崎一郎
サッカリ……虛榮の市……森田草平
ディケンズ……ニコラス・ニクルビー……西崎一郎
RG・エリオット……サイラス・マーナ……片山敏彦
RG・エリオット……指輪と本……豐島與志雄
アーノルド……批評論……荒川龍彦
スティーヴンスン……寶島……上田義雄
ベイター……メアリアス……エピキユアリアン……畑野一郎
パトラ……萬人の路……大和資雄
ハーディ……「ダーバーヴィル家のテス」……澤村寅二郎
ハーディ……「ディナスツ」……澤村寅二郎
メレディス……エゴイスト……百瀨文平
G・エリオット……一青年の告白……田邊慶治
コンラッド……ニガー・オヴ・ナーシサス……若月紀
ベネット……老妻物語……荷見守義
ウエルズ……トーノ・バンゲイ……稲村隆一
ゴールズワージ……フオアサイト……市川又彦
ショー……人と超人……鹽谷修
ブリヂズ……美の讃音……酒井善孝
ウインダム・ルイス……神を眞似る猿……南條範夫
ヂヨイス……ユリシーズ……名原廣
ロレンス……息子と愛人……勝俣銓
V・ウルフ……ダロウエイ夫人……藤一郎
オフラハティ……ヴイクトリア女王……安原喜弘
ストレイチ……ヴイクトリア女王……菊池重三郎
TA・ハックスリ……驚異曲對位法……秋谷豊
TA・ハックスリ……密室者……佐藤朔
RS・エリオット……荒地……山本健吉
ハーバート……リード……英詩の諸相……山上次郎
ハーバート……リード……英國の部……土居光知

ホーソン……緋文字……長島彰
ポウ……短篇集……志賀直哉
ホイットマン……草の葉……沼波瓊音
メルヴイル……白鯨……重藤二郎
メルヴイル……トウエイン……ハツクルベリ・フイン……長谷川誠也
フランク……ノリス……章魚……豊田實
シンクレア……ヂエニー……ゲルハルト……伊藤整
シンクレア……エルマー……ボストン……杉浦明平
アンダスン……ワインズバーグ・オハイオ……中野好夫
オニール……異樣な從合劇……吉田甲子太郎
フロイド・デル……刑森の茂……濱野修
ドス・パソス……ヨ線四十二度……佐藤一英
ヘミングウエイ……武器よさらば……佐藤朔
フオークナー……聖殿……高垣松雄

丸善の洋書

Laird, J.—Hume's Philosophy of Human Nature. '32. ..... 9.35
Laski,—Studies in Law and Politics. '32. 7.85
Leavis, F. R.—New Bearings in English Poetry: A Study of The Contemporary Situation. '32. ..... 4.50
Maniac (The): A Realistic Study of Madness from the Maniac's Point of View. '32. ..... 5.60
Nichols, B.—Down the Garden Path. '32. 5.60
Nowak, K. F.—Germany's Road to Ruin. 15.75
Powys,—In Defence to Sensuality. '31. 2.60
Schneider, R.—Fichte: Der Weg zur Nation. '32. ..... 5.80
Scott, Sir W.—The Waverley Pageant. 6.35
Servicing Projection Equipment. '32. .. 8.40
Strong,—Common Sense about Poetry. '32. 1.85
Theilkuhl, W.—Deutsches Land und Deutsches Leben. '32. ..... 3.75
Valois, G.—War or Revolution. '32. .... 4.50
Werfel, F.—Können wir ohne Gottesglauben leben? '32. ..... 1.20

電(本店(24)2121, 2131 • 丸之内賣店(23)2747
話(神田(25)0960 • 三田(44)1926 • 早稲田(34)3805

東京市澁谷區櫻ケ丘町四 新英米文學社 日本圖書株式會社 振替東京五九三四九番 電話青山四六〇四番

新綠の初夏の御氣分を新鮮な心地良いS・P・Gで滿喫して下さい

SAINT PAUL·S GRILL

(立教大學構内學生食堂)

●モデレートプライス
●大學生活の核心
●皆樣の社交場
●愉快なる安息場
●セント・ポールス・グリル

お食事に大食堂——喫茶と御休息にロビー
小宴會に小食堂——大宴會に大食堂——茶話會 ¥0•30
より晩餐•晝餐 ¥ •50より——是非御利用下さい
本日より發賣 アイスクリーム ¥0•10
近日發賣 アヅキアイス ¥0•05

●皆樣のサロン
●皆樣のクラブハウス
●おいしい御食事
●素晴しい設備
●明快なるサービス

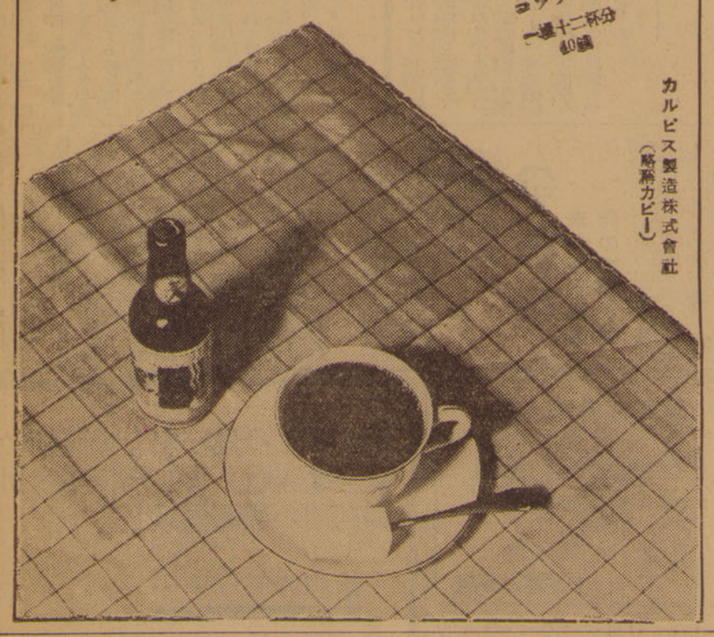
S・P・G

日本で初めて出來た
カピーの
コーヒーエッセンス
美味世界一

リユクサツクに一壜……疲勞の回復
スーツケースに一壜……旅行の經安

純粹度100%
菱詰二杯で
コップ一杯分
一壜十二杯分
40錢

カルピス製造株式會社(略稱カピー)



最新刊

故神學博士 チヤールス・ゴア著 四六版・布裝箱入四百九拾頁
神學博士 稲垣陽一郎譯 四百九拾頁定價金二圓五拾錢

キリストへの信仰

本書はゴア著作五十種中の最大雄篇として神學界を風靡せし信仰再建三部(キリストへの信仰、神への信仰、聖靈と教會)中の隨一傑作としての激賞篇太ゴア追悼の花輪として捧ぐる記念出版

壯嚴を極めしウエストミンスター・アバーのゴア記念禮拜式に臨んで、カンタベリー大監賣は讃へて曰ク「監賣、學者、思想家、敎師、預言者、聖徒なるゴアー」と。その巨星ゴアの最大著作「信仰再建三部作(キリストへの信仰、神への信仰、聖靈と教會)」の繙讀權は、彼の生前彼と親交ありし稲垣博士のみに特約されてゐた。故に巨星の訃一度傳はるや、稲垣博士は巨星に對する熱烈的感激に慟えつゝ本書の譯出に其全精神を傾倒したのである。而して其尊き勞力の結晶は今や燦然として諸君の前に輝いてゐるではないか。

見よ！何と力ある筆の運だ！舌、巨星の魂の躍動！全頁に漲る迫力！試みに繙け！ギリストの人格に對するあらゆる論議を列擧網羅して之を明確に批評滅卷し、インカーネーションに關する傳統的信仰を高調して、迷想に囚はれたる知識階級の夢を覺ます共に、自由檢討の分野にも正しき進路を指示した驚くべき巨星の指導力！

内容目次

第一章 ユダヤ的背景 二十一項より
第二章 最初の弟子の信仰 十八項よりなる
第三章 最初の教會の信仰 十九項より
第四章 聖徒ヨハネ並に新約聖書の殘餘の作者 十九より
第五章 終末事項に關するイエスの說教 十三項より
第六章 インカーネーションの教義は眞實なりや既述の論議概括の定義 二十三項より
第七章 キリストの人格に關スル教會世界會議
第八章 聖三位一體の含蓄的教義 十一項より
第九章 罪と墮落 十六項より
第十章 贖罪 十四項より
第十一章 總括と結論十一項より

最新刊

エイ・エフ・ジョンストン著 稲垣文子譯 モール夫人序

みかげを慕ひて
—カリラヤの少年ヨエルの物語—

四六版・布表裝華美裝幀 原色挿畫多數 定價金二圓

世にも巧みに描寫せる四福音書の横顔

主、イエスと同時代に生れたヨエル——それは主のみかげを慕ひ行く可憐な少年である。不遇の子よ、數奇を極めし運命のまにまにくゝその痛める魂が慕ひ寄りし君や誰？聖ペルレ、ムよりナザレへ、ガリラヤよりエルサレムへ、斯くして彼の君は遂にゴルゴダへと辿り給ふ。ぱにや明暗寥廓の舞臺直！見よ、救主基督を緯としヨエルを經として、纖細純美に織出されたる綺麗極彩・の繪巻物！さながら四福音書の側面觀であつて、至妙を極めしプロットは、讀む者をチヤームしないでは置かない。舊約時代のユダヤの全貌——人情、風俗、習慣、地理、風物一切を、よくも斯くまで實寫的に表はし得た物だと、專門家に讃嘆されてゐる本書か、讀者總ての藝的興趣を何としてもとゞまらせないで置かうか！

發賣元 東京市神田區錦町一丁目一番地 振替東京四一七四〇 聖公會出版社
取扱所 東京市豐島區池袋 聖山莊
全國基督教書店取次販賣
圖書目錄申込次第進呈(賣切の際は直接本社へ)

好評嘖々たる
獨逸語參考書

第八高等學校講師 澤井要一著

高等受驗用獨作と和獨要語

高等の學生諸氏にして出來上つてゐる獨逸文章を讀み得る人は決して少くない、併し日本文を獨用に獨逸文に作る事は屢々困難とされてゐる、その原因は色々あらうが、最なるものは作文の骨を會得してゐない事である。本書は澤井氏が多年の經驗と學殖とを以て從來諸學校の入學試驗に出た問題を主として簡明直截な獨文に譯した模範的實例數百題を擧げ獨文作法の骨を會得せしめんとして編んだものである、附錄として諸大學選抜試驗問題を一括し各之に明答を與へてゐる。讀者は夫等を反覆讀誦される間に自ら作法の骨を呑込んで獨作に對する自信を得られる事必然である、尚巻末に五十頁に余る和獨要語を附加してある事は勉學に多大の利便を供するであらう。

■四六判本綴・正價一圓五十錢・送料八錢

水戸高等學校教授 莊直一著

單語四千と熟語六百

單語と熟語とは車の兩輪の如く、此二つを併せ得て初めて運用圓滑となり、自在な讀書力が生ずるのである、坊間久しく單語のみの單語集あるも、熟語の併載を見ざりしは特に寥々たる者の不便とする所であつた。

本書は中級以上の學力を對照に、先づ用途の廣き四千の單語を嚴選し、之に關係語、合成語の無慮六千を補ひ、以て一單語の持つ幾つかの意味と働きを各方面より明かにし更に最も緊切にして効果的なる實用語約六百を採錄し、書肆飾晴初めて學者上從來の不便を一掃し、玆に完璧の成書として世に問ふに至つた、構成に取材に將た活用に單語と熟語の集としては洵に破天荒且つ理想的のものなるを斷言する

■袖珍型・正價一圓三十錢・送料八錢

對譯叢書 獨逸論文叢書

杉山 茂譯 物理と化學(初級用) 價一・〇〇 送四
杉山 茂譯 物理と化學(上級用) 價一・二〇 送四
杉山 勝知譯 プルフ 法律學概論 價・九〇 送四
杉山 勝知譯 ラート 理論經濟學 價一・四〇 送六
杉山 勝知譯 カール ヂイール 序曲 價一・三〇 送六
山岡 直道譯 ヒンデル バンド 人生の段階 價一・〇〇 送四
杉山 茂譯 ヒル テイー 進化論 價一・四〇 送六
生駒 佳生譯 ヘツケル ダーフイット 權利鬪爭論 價一・四〇 送六
杉山 茂譯 ヘウニル 婦人論 外一篇 價・九〇 送四
シヨペンハウエル
野田 孝嘯譯 リツケ ルト 哲學の概念 價一・二〇 送六
尾崎賢三郎譯 イニリング 價一・四〇 送一〇

澤井 要一著 なくてならぬ 獨和動詞辭典 價一・五〇 送八
澤井 要一著 なくてならぬ 和獨動詞辭典 價一・二〇 送四
中尾、井口共著 獨逸語基本五千語B 價一・五〇 送六
粕谷 萬洋著 獨逸重要單語カード 價一・九〇 送一四
莊 直一著 新複式 獨逸單語カード 價一・九〇 送一四
莊 直一著 獨逸一千熟語集 價一・二〇 送八
粕谷 萬洋著 公式應用 和文獨譯法 價一・五〇 送一〇
粕谷 萬洋著 文法應用 獨文和譯法 價一・五〇 送一〇
小池 堅治著 アウトディダクト 價一・八〇 送一〇
クンツニ・淺川康一共著 文法詳解 和文獨譯の秘訣 價一・八〇 送一二

東京市本郷區龍岡町 振替東京六三三八番 南山堂書店

代議員制への一提唱

選挙された代議員選擧の結果は一般の予想に反して選挙部側の大勝利に帰した。全學生の約三分の一を占むる文化側が之に對して何等の施すべき手段を持たず依然たる不振の狀態にあるのは何故であるか。並立すべき筈の智育と體育が學友會に於ては互に對立の形をとり一方は只成長のコースを走り、自己の内に包藏する矛盾をも省る暇なく、他方は己の行くべき道を知らず、その消極性から、客觀的には没落の過程にさへあることは現實的世相の具體的反映である。

とは云へ我々はかゝる傾向に何等の働きかけをも爲すまいと諦めて了う者ではない。我々は我々の文化團體が、輝かしき我々の「スポーツ」に肩を並べて健康な存在となるべく希望し且つ努力する。先づ機討の第一歩として代議員選擧の選挙方法を取り上げて見よう。我々はこの方法に種々な點で缺陷を見出す。勿論選挙方法でないならば選擧の場合同點者を出しその決定に困難を生ずる場合が起る虞ひがある。だが、次のやうな實例は何を物語るのであらうか。或るクラスでは運動部側に對する文化側の選擧數は一對一であったにもかゝわらず選出代議員は全部運動部員であった。端的に云へばこの選挙方式は文化側に適應しなくなったのである。學友會の目的を遂行するための矛盾となったのである。

では、それに取つて代るべきものは何であるか。「智能ノ啓發體育ノ養成」と云ふ學友會の目的に基きその目的の立場から學友會を文化團體と運動團體とに分けよう斯くして選擧者の自由なる選擇に委せその何れか一方に投票せしめる。選出された代議員は代議員會に於て文化團體及び運動團體の豫算を決定し、その後、各部の豫算は文化團體及び運動團體が各〻自分達の間で決定するべきである。無論、この形式が何時までも續けられやうとは思はない。而し現在の客觀的狀勢から、妥當な、必然的に生ずべき形式ではないだらうか。

次に更に、一般學生は奥深なる選擧、學友會費を分配する代議員會の内容については少しも知らない。我々が選出した代議員は代議員會に於て如何に活躍して學友會の目的に活ふべく努力したか、その議事録は當然發表さるべきである。が、でなければ選出された代議員は、當然クラスへ歸つてその結果を報告すべきである。それを知つて一般學生の學友會に對する認識は高まり、結局公平なる合理的な代議員會が希まれるのだ。

例へば本科の或るクラスのことであつたが、再〻選擧の行り直しをしたにもかゝわらず選擧者の數は常に規定人數に達せず會長の指名に依る外なかつたのなどは、一般學生の學友會に對する無關心さを非難する前に如何に、現在の代議員が重要視されて居らぬかを如實に物語るものではないだらうか。當然「規則」起草委員河西氏が云つた「規則は體なる精良し」それは一つには細則を設けられゝば設けられる程その規則が時代の進歩に伴はず却てそれあるがために運營を餘儀なくせられ目的貫徹が鈍行されぬ事極足棚と成り終るからである。

代議員選擧の結果が若だしい偏向を示した事は以上我々が檢討した如く極めて多くの缺陥を持つものであるけれども此處に提起された問題が解決されゝば、次第に矛盾激化の跡を辿りし學友會に何らかの除溶と、更にそれに次ぐ新しい光明とが與へられると思ふ。

學友會に關しては今迄の感の太だ薄く高まりつゝあるとき我々はその前兆とも見られるものを我が學園内の現象に止らざるを思ふならば心ある者の驚覺し又その打開策に腐心するべきが當然であらう。

波瀾なく終つた
本年度の豫算審議
拳馬二部の加入を見て

波瀾を豫想された學友會豫算會の前哨戦とも見るべき學友會代議員選擧も別項の如く運動部側の大勝利に終つた。資總數小數の文化團體側がどの程度まで餘計論を以て運動部側へ肉迫するかを注目されてゐた所、運動部側より申請せる拳闘部、馬術部、スケート部三部の入會可否及び前年度より増收六百六十六圓五錢を施つて團體は果然緊張を示し此處に猛烈なる言論戰が展開さるゝに到つた。然して出席委員三十七名の間に說明、質問、議論等々喧囂たる中に審議に進められ申請三部の件に關しては文化系が經濟的立場より否決するに對し運動部系では寧ろ精神的觀念に立脚して加入を可決するに至り又も言論戰が開かるゝに至つたが文化系の微力では到底覆し難く結局三部の申込書は通せられ、スケート部は否決せらるゝに到つた本年度の増收金總額の配分については意見百出を豫想されたが休憩中小委員會を持ち私談的に意見をまとめ、その代表的意見を相撲部増田君が代讀することによつて問題は急轉直下解決し、昨年度豫算を基として千圓以上支給せられてゐる部に對しては廿五圓、以下は卅五圓、千圓以下は廿五圓を配給、殘額百廿一圓五錢は臨時豫備費とする事になり尚重要視されてゐた籠球部新設費千五百圓も萬一實行される場合は之に當て不可能の場合は野球部が千四百圓を取る事に依つて解決した、然し之等決議事項を來る廿四日に行はれる代議員總會に諮つて決定する筈である、兩部の表面的握手を豫想されてゐた學友會委員の豫算會議も何等の波瀾も見ず平穏裡に終了した

昭和八年度學友會豫算會議は去る九日午後二時半より職員室に於て木村學友會長、矢澤會計幹事、古谷、長谷川氏、學友會各部代表、代議員代表、委員卅七名出席の下に開催長谷川氏を書記に任命、會長の挨拶に次いで今村幹事より昭和八年度の事務報告及び部長會、代議員總會の件について報告あり、矢澤會計報告の昭和七年度收支決算は全員異議なく承認、今村幹事昭和七年度各部豫算報告書を讀み愈々入部申請に係はる拳闘部、馬術部、スケート部三部の審査に入り先づ拳闘部委員水戸君より部備の報告を爲し更に馬術部委員成田幸一郎君が同部の歴史、現狀を說明し、最後にスケート部委員したが、増收については分配法が果然大問題となり兩派間に一波瀾が起るかと見えたが相撲部委員増田君の提案に一同賛成し結局前年度の配當を基礎として千圓以上の部は廿五圓、以下は卅五圓、千圓百廿一圓五錢を臨時豫備費として、若し剩餘金がある場合は來年度繰越金に組入れる事、本年學友會主催の新入會員歓迎會を開催しなかつた爲之に用ずる百圓を本年度運動會補助費七百圓に加へる事を滿場一致を以て可決した、最後に長谷川書記朗讀決事項を報告し會長の挨拶によつて拍手を豫想された本年度豫算會議も表面上無事に七時半閉會した

卒業論文規定

昭和八年度經濟學部及び文學部の卒業論文に關して指導教授並びにその題目及び提出期限は各〻左の通りである、尚提出期日六月十五日迄提出期限昭和九年一月十二日午後四時

増收六百六十圓
各部を霑す
だれ氣味の委員會

代議員總會で
原案無事通過か
廿四日總會で決定

無く通過し承認さるゝものである。昭和八年度學友會各部駐當金は左の通りである。(單位圓)

蹴球部	二二二五
ラ式蹴球部	一二二五
ア式蹴球部	五五〇
卓球部	八八五
競技部	一〇七五
相撲部	一三九五
柔道部	一四二五
水泳部	一三七五
籠球部	一六七五
山岳部	五六五
劇道部	五六五
ホッケー部	三七五
弓道部	一〇九一・六三
青年會	一〇八一・五一
英語會	一〇八一・五一
經論部	一〇八一・五一
音樂部	一〇三六・三四
新聞學會	五三三・二五
雅楽部	

改正せられたる
幹部候補生制度

文化系慘敗
學友會代議員選擧

部外團體豫算會
届出を待ち來月廿日頃

會計學のゼミナールを開く
商工研究會

三講座增設の神學院
辯證學比較宗教宗教教育を設置

雨と休講のオアシス
新設の學生控室

完成した學生控室

外人教授の任宅新築か
總長東京空地に

水飲場が欲い

夜の圖書館

全科目に渉つて試驗を施行
菅豫科長の新方針

關大新聞部員本紙を訪問す

神學院の寄宿舍增築か

でたらめな身體檢査證
新入生の體格檢査で呼吸器病者が續出

不備な新聞閲覧所に

その後の就職者

根岸カップ爭奪戰
來る三十日恒例の雄辯大會

喫茶
クヒター
電氣蓄音機
常奏
スミレ
食料品　和洋酒
喫茶材料專問店
卸小賣
ヤリドミ

ふるほんや
古本　和本　洋本
しゃれ本・ちゃ本・草〻
東京・池袋一〇八六
赤春堂

古洋服高價買入
鈴木洋服店
東京市芝區新橋四丁目十
電話芝(43)二五六(呼)

校友會　縣人會
日本料理　大國
春日町
鳥
牛肉は替付
又八日本料理四品特製　正宗二本
水菓子　御飯　こんとぜ
三階新築落成
又々氣分の良い
壹圓

服裝は人格の鏡
洋服は——生地と——裁縫
お客樣への奉仕は・親切と・勉強
連鎖店　蒲田　渋谷　小山
としま師範脇大通り
大洋堂洋服店

今度感じの良い安くて美味い食堂を開店致しました何卒お引立御利用の程御願致します
當店のモットー
新鮮・・・迅速・・・低廉
お定食　營業時間……
朝食　十錢　午前六時ヨリ
晝食　十五錢　午後十一時マデ
夕食　十五錢
丼類　十錢……ヨリ
ナポレオン食堂
池袋二丁目一一五八
(師範横豐島通り)

文房具
喫茶
立教堂
立大正門前

上海料理
御晝食は三樂で
電大塚3260
師範前通り

これからのサッパリした御調髪はゼヒ北村へ！
池袋銀座通り

御存知ですか？
皆樣!!
皆樣の唯一の娯樂場を
鈴の音撞球場
池袋トキワ通
(池袋キネマ裏)

バー喫茶
スリーシスタース
銀座二丁目電京橋(56)六〇七五
ルシカ

象牙の塔を開いて映ゆる文化の立教

確定しないが六月十日前後

第二回文化祭擧行

今秋盛大に擧行される筈だった第二回文化祭が別項の如き理由により大體六月十日前後の二日間にわたつて開催されることに内定したが、期日の確定については本學の休業日曜日の校舍使用が許可されず、その他二、三の點で目下當局と交渉を續けてゐるがこと數日の間に最後的決定を見る筈で既に文化祭實行委員會各部では去る八日新宿白十字に委員會を開き具體的な計畫を立てるとともに、文化祭準備本部をサロン・セントポールの二階に置いて着々と準備を進めてゐる。第二回文化祭の委員長には小説映畫の高橋一郎君が推され各役員も全部部署に就いて堅い決意に萬難を排して決行されるものと見られる、第二回文化祭が立教文化高揚のモメントとなるものとして擧國をあげて待望されてゐるが、スポーツの立教として謳る本學も、この日ばかりは文化の波高く文化二十餘團體が象牙の塔を破つて輝く綜合的文化デモへと進出する意義ある文化祭の日は今から學の内外に待望されてゐる

壓卷は講演會

呼物は大展覽會

心理學教室も公開

第二回文化祭の催し物の詳細にわたつては各部とも慎重に計畫を進めてゐるが、文化祭本部のプランメーカー柳澤君がたてた計畫によると、昨年時間的な關係で中止のやむなきにいたつた講演を今年は本學經濟、英文、史學、神學、哲學六科のビッグアップを中心に盛大に行ふことになつた、尚その他の催し物についても立教文化水準の高揚をスローガンに掲げ文化祭の眼目にそう標な何物かを學生に暗示するものとして待望されてゐるが今の所決定した

催物　は映畫、音樂、劇、その他十二、三の展覽會であり、本年の新しい試みとしては私大中に光る心理學教室も公開されることに殆ど決定し、特に子供連れに向つては青樹會の少年部が面白い童話を話して聞かせることになつた

今年から變更さる

文化祭の時期

昨秋の文化祭が學友會主催の運動會とぶつかつたため、ともすればスポーツ團體と對立的に見られ勝ちなのを憂慮した當局の意向で、本年度の文化祭は運動シーズンと時期を畫にすることを規定されたので、にはかに時期を改めて第一學期に擧行することになつたものである

ウッド博士再び來朝

東洋方面視察に

米國聖公會海外傳道部長ウッド博士が二十九日横濱入港の秩父丸で來朝する、同氏は昭和二年度にも來朝した事があり、大學でも大々的歓迎をしたが今回は聖路加病院落成式をかね、矢張り東洋方面の傳道狀態視察するもので、六月四日(日)の本學チャペルに於ける禮拜にはペリー監督と共に來朝し講演する筈である

世界的な神學者

ガウエン師來る

十月より神學院で講義

米國の世界的神學者たるH・H・ガウエン博士が本年十月來朝し約一年の滯在期間中、本學神學院で教授聖書の講義を受持つ事になつた同博士はウシントン大學に於てオリエンタルデパートメントの教授であり、米國に於ける輝ける神學としてその名はつとに學界に喧傳されて居り、彼地に於ては學的に大きな勢力を持つてゐる同師は又非常な親日家でシヤートルの在留邦人や日本から行つた留学神學生等は多數同師の世話になつて居り從來しばしば交換教授等で日本に來り、東洋の事情にも精通してゐる

昨年の夏には學アンデレ同胞會日本部の招聘で來朝し、東京、横濱、大阪、京都、神戸、長崎、福岡、熊本、仙台、盛岡、函館、札幌、旭川、釧路、室蘭、小樽、新潟、高田、長野、甲府、前橋、宇都宮、水戸、浦和、千葉、横須賀、横浜、鎌倉、藤沢、小田原、熱海、沼津、静岡、浜松、名古屋、大阪、神戸、姫路、岡山、高松、徳島、高知、福岡、長崎、熊本、鹿兒島、那覇、台北、新竹、台中、台南、高雄、基隆、大連、奉天、撫順、新京、ハルビン、上海、南京、漢口、北京、天津、青島、濟南、大同、太原、張家口、ウランバートル、ハイラル、チチハル、ペイピン、ペイタイホ、ペイタイホ、ペイタイホ

絶望せるワレリイ

杉捷夫

電話であひ度いと云つて來たので、四時頃P・Vにあひに行く。二時半頃にも話し込む。彼を親しく知つた者でなければ、彼の神經を微笑と嘲との持ついみじきやさしさを心に描くことは不可能だ。あふるゝばかりの人なつかしさ、濃々と湧いてつきることを知らぬ知性の泉。彼の警句の面白さ、彼の神經の明晰さ、かう云つたものを想像することは出來まい。――而もこれは非常に口のしやべり方の間から發散させられるのだ、非常に聞き取りにくい、しど〳〵口の中でもぐ〳〵云ふだけのこともある。勢ひ自分も度々文句を繰返して云つて貰はなければならなくなる。

ひどい風邪を引き込んで部屋に閉ぢこもつてゐる、すつかり參つたと云つてゐたが、傷から見ても さう見える。一般的な情勢にひどく心を痛めて居り、政治屋共の淺ましい策動が我々を深淵に導きつつあり、我々と共に全歐羅巴を沒落せしめると嘆じてゐる。アインシュタインの警明書を讀んで聞かせてくれたが、これは戦慄と個人主義的なものであり、彼としてはソヴエートの側よりこの方に異議を唱へたいと云ふのである。國際主義者の破壊的要求に對抗するための統一戦線を纏めることは不可能である。P・Vは私に向つてしきりに此事實を說得しようとする。この話を交へた後でひどく喘い氣持になり辭去る。蓋し私には彼の云ふことが尤もであるのを疑ふことは出來ない。破局は私にもほぼ避け難いものゝやうに思はれるだが私はこの事實から、資本主義とその墓に潜むすべての弊害と不正と虚偽と非道との崩壊を衷心より望むやうになつた。」

これはアンドレ・ヂッドが最近に發表した日記『新佛蘭西評論』昨年の十月號)――有名なその所謂轉向を表白した日記――の一節であるが、こゝにP・Vとあるのは、勿論ポール・ヴレリイのことである。最近と云つても日記の日付を見ると去年の二月のことであるが、知性の詩人であり、偉大なる批評家であるこの哲人は、今尙その絶望を續けてゐるものと思はれる。否、最近の世界情勢は益々彼の絶望を深めてゐるものであらう。歐羅巴は沒落する。文明史上に演じて來たその本來の役割は終焉を告げる。

◇

これが彼の明徹な知性を極ます最大の關心事であるかの如く見える。彼の評論集「ヴリエテ」の卷頭を飾る「精神の危機」の中にこの不安は簡潔にして悲痛な響きの高い言葉を以て告白されてゐる。我々は憂國の大文字と云ふ言葉を知つてゐる。若しもこれと同じ意味を歐羅巴にまで擴大することが許されるものならば、ヴレリイの文章はまさしくギヴイス・ロマヌス(祖國を憂ふる冷徹なる知性の危機感覺)である。

「嵐は終息した。しかしながら我我は、死も嵐が勃發しようとしてゐるかの如くに、不安で憂慮してゐる。

(中島、佐藤兩氏譯、白水社版「ヴリエテ」四三頁)

今から十年前一九二三年十一月チューリッヒ大學に於て試みた講演を彼はこの言葉を以て始めてゐる、まことに戦後の十年間の佛蘭西こそは典型的なる「不安」の時代であつた。文學に於けるダイズム、シュールレアリズムの勃起はこの端的な且つ最も失鋭な反映に外ならない、フロイドのリビドはベルグソンのエラン・ヴイタルと共に改めて人々の關心の舞臺に出現した。人間認識の不安定性を益々煽り立てるかの如く見えた。プルーストの人格分解法はヂッドの無償行爲說(例へば「法王廳の拔け穴」のラフカディオは何の理由もなく隣席の男を進行中の汽車からつき落す)と共に謂はば若き文學の湯き物となつたのである。思考する人々はいやが上にも不安を日常の糧としてゐるかの如くにさへ見えたのである。

批評家バンジヤマン・クレミユーがその「戦後文學の總勘定」を「不安を再建」と題したことはまことに謂はれのないことではない。けれどもこの戦後の歐洲の不安をヴレリイ程に明徹な知性と高邁な立場からその點の姿をあり見極め、その文化史的意義をありありと浮び上らせてくれた批評家は外にはゐない。

◇

「此の世のあらゆる根本的な事物は戦爭によつて、更に正確に云へば、戦爭に伴ふ特殊事情によつて侵されたと云ひ得る。……しかも、此等總て創傷を受けたものの間に、「精神」がある。「精神」は誠に無疑な能手を受けた。精神は精神家の胸中に呻吟して、悲しく自らを批判してゐる。精神は深く自分自身を統つてゐる。(前掲書四四―五頁)

彼は「精神事象の此の痛ましい狀態、精神家達の此の躊躇、此の苦惱は何に原因するのか」と云ふ問ひを自らに發しこれに答へようとする。

「人間とは、その……夢によつてその夢の强さ、連絡により、多樣性によつて、又、それ等の夢の異常な作用――自分の自然のみならず他のことなく自分の夢に從屬させようとしてゐるその周圍の自然までをも、變改するに至る異常な作用によつて、他の總てのものを驚嘆し、他の總てのものの上にある分離した動物、奇妙なる生物である。(四五頁)

「……人間は、その環境に對して保持してゐた平衡を破り得るものを自分の裡に藏してゐる。……彼は剩々に彼のある以外のものである足の、飽きられた體系を形づくらなすべき力しら過度の力を導き出す。肉體と食欲が靜靜するや否や、最も深いところに、何ものかが蠢めき、祕かに、彼を惱し、動かす。照し、促し、刺戦し、動かす。これが「精神」なのだ、そのあらゆる無窮無の實問に身を閉めた「精神」なのだ……。(四七頁)

ここに唯心論と呼ばれてゐる哲學體系の建設的方面の卒直な表白を我々は看取し得るであらう。彼は、精神は「數々の夢想の神祕なる作者である」と斷定する。然らば「人は如何なる夢想を描いたか」。

「我々自身の裡を見よう、そして我々の周圍を見よう。町を眺めよう、或は手に觸れた二三の本を繰つてみよう、或は察ろ我々の心の裡に夢想の最も素朴な動きを觀察しよう。(四八頁)かくして彼はエデンの園の「知」の夢と「不死」の夢「一個の日塔の建設に協力しつつある人類の夢」から始めて、「エネルギーの無償創造」に至るまでの實現された若しくは實現され得ない夢を數へ上げた後で、一個の素朴な、しかし驚嘆に値する事實を發見する。

「此等總ての實現の中で、最も數多い、最も驚くべき、最も豐富な實現は、かなり限られた部分の人類によつて、又、住み得る土地の總體に比して非常に小さな地域に於て、完成されたのであつた。(五一―二頁)

さうして歐羅巴が正しくこの惠まれた場所であつたのであり「歐羅巴精神がこれ等の驚異の創造者であつた」のである。

◇

「歐羅巴精神」の君臨する到る處に人は要求の最大限、仕事の最大限、資本の最大限、生産能率の最大限、野心の最大限、權力の最大限、交渉と交易の最大限が現れてゐるのを見る。」(七二頁)

しかし問題は「歐羅巴にとつて有利に、これ程久しい間守られて來た不平等」が「それ自身の作用によつて、次第に反對の方向の不平等に變る」と云ふことである。「歐羅巴が事實に於いて新しくあるもの、即ち、亞細亞大陸の胚たる一紳となる」可能性が極めて濃いと云ふことである。「精神の危機」とは正にかかる事態を指してヴレリイの名付けるものなのである。「最も驚嘆すべき事實、最も相違する生活と感覺、歐羅巴の原則が、敵意あるあらゆる精神の中に勝手に共存する」と云ふ「近代主義の極限」こそはかかる危機の根の從屬面に發見される病狀である。「歐羅巴の知性である知的ハムレットは「私は、產み出すことに倦んではゐないか?」と自問した。それは歐羅巴の優越が保持されてゐた力のそれ自身の作用は歐羅巴の優越をその反對物に轉化すべく、剩々に精神を駆迫して云つてゐる。

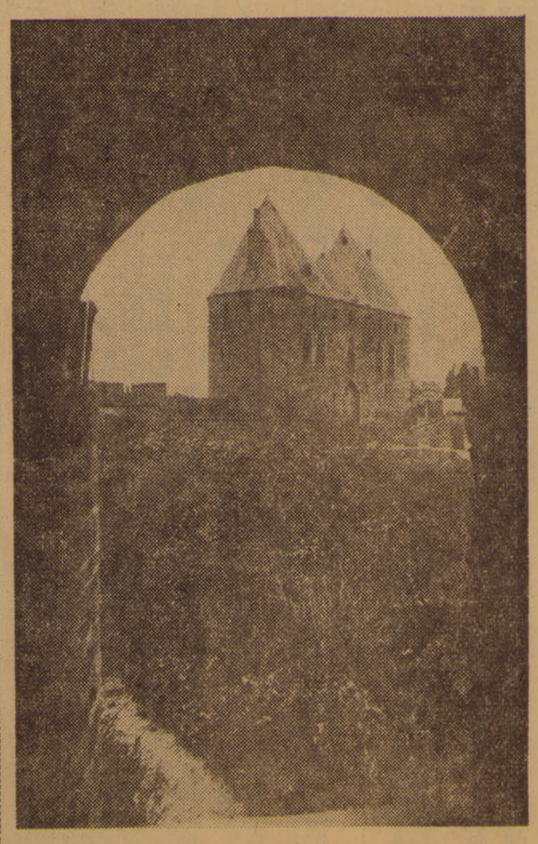
「歐羅巴は、新初に力を示した行爲であり、後者は歐羅巴から引き出された謂はば歐羅巴から發展した國民が歐羅巴の一國を相手に最初に力を示した行爲あつた」「世界大戦の直接の結果は正にしかあるべきものであつた。それは歐羅巴の沒落運動を惹立たせ促進せしめるものに過ぎなかつたのである」と同じ文中に續けて云つてゐる。

まことにヴレリイの男徹な知性に映じた歐羅巴の精神的狀態こそは史上空前の悲痛なる色調を帶びて心ある歐羅巴人に迫るものがあるであらう。だが、歐羅巴人ならぬ我々にとつて興味ある事實は、否進んで大なる教訓を齎すべき事實は、かかる危機を考察するに當つてのヴレリイの思考の方法であり、尙云へば、かかる危機の眞の姿を發見せしめるに至つた彼の思考の態度である。以上の短い引例から既に我々の充分裏ひ知り得る如く、それは、一言を以て盡せば、最も素朴な事實を見極め、考へ、直すと云ふことである。存在の最も始源的な根底的なものに(Au le nantire)遡ると云ふ態度である

上にあげた同じ序文中に彼は「我々の存在と我々の物質の最も單純なる最も恒常的な諸條件に關する我々の無自覺」が如何に歐史を歪曲し、政治を歪曲してゐるかを詳しく述べてゐるが、彼の鋭い知性は專らこの「最も單純なる最も恒常的な條件」の闡明へと注がれるのである。この點こそまさに、バンジヤマン・クレミユーが正しく指摘してゐる如く、アランと共に彼ヴレリイが若き批評家等の再建事業に於て師と仰がれる所以なのである。皮肉にも彼の經驗の武器は若き批評家等の再建の武器となつてゐるのである。ジヤン・ブレヴオ、マルセル・アルラン、の姪き新進ラモン・フエルナンデス、ヴレリイ・ラルボー、バンジヤマン、クレミユーの如き中堅批評家、批評家の活動は正しくこれを證明してゐるものと云へよう。彼等が新しきユマニスムを建設しつつあることは疑ひを容れない。

◇

一方にヂッドは、――「自己と世界との多樣性」に惱み、自分を敎へることを止めたあらゆるものから驚くべき速かさを以て離脱しつつ」(從つてその前にあらゆるものから自分を敎へるものを悉く



月五のンイペス

世界經濟會議の意義

田邊忠男

アメリカが主催して、有力な國を招聘して世界經濟の安定を策したことは主催國がアメリカであり、且つそ大統領が、フーヴアー景氣が崩壞した後のアメリカ經濟界の不況――結局それが昨年の金融恐慌を導いたものであるが――の克服手段として企てられたところに一つの意義があると考ふべきである。歐洲大戦後、誰でも知つてゐる如く、アメリカは軍需品の賣却の利益、從來自國内に於て行はれてゐた外國投資の回收、戦時に參加したとは云ひ乍ら、その直接の被害を蒙りたかつた事の爲に世界に於て極めて優秀な經濟的地位を獲得した譯である。

斯く外國投資の回收、並びに戦時中及び戦後に得た莫大債權の元利の支拂から、從來は輸出超過國であつたにもかゝわらずアメリカにはゾクゾク資本が流入して來てニューヨークは戦前に於けるロンドンに代り世界金融の中心地となつた。

併し戦爭後に集まつて來た資金を外國に投資する冒險心をアメリカ人にはなく、又實際に世界の政局が安定しなかつたために安全に此のことを爲し得なかつたから、殆ひ、これ等の資金を國内に投資し高い利益をかけて國内市場を外國に對して保護し、アメリカ資本に依るアメリカ市場の利用に依つて經濟的繁榮を世界の窮境の中央に作り出さうとしたのである。

此の政策は内國市場が廣いため初めの段階に於ては或點まで成功し、フーヴアー景氣を現出した譯であるが、間もなく、國内市場は飽滿の域に達して不景氣に轉向することゝなつた。

併し最初はこの情勢を緩和する爲に長期間の信用賣りの方法に依り、一時、產業の杜絶を除かうとしたのであるが、結局それは貸倒れとなる外なかつた茲に於て金融恐慌に屬する限りは、一時政府が低利資金を交付してこれを沈靜せしめるとが出來たが、元々この金融恐慌の根底に、アメリカの市場をのみ目標としてゐては生産過剩に落ち込ると云ふ狀態が存在してゐたのであるからこの根源を除かなければアメリカの經濟界は立直ることが出來ない。そこでルーズヴエルト大統領がこの根本の病患を除かうとして世界經濟會議に乘り出したものと見える。即ち世界の經濟を安定しそのアメリカ商品に對する購買力を復活するため、その結果となつてゐる戦債賠償問題を解決し時と場合に依つては更にアメリカの資本を借しつけてその復活を助成すること、特にアメリカ商品の輸出を容易ならしむる爲、戦後に於て生じた各國の高い關稅の障壁を低めだが、元々この問題に於てアメリカの市場をのみ目標としてゐては生産過剩に落ち込ると云ふ狀態が存在してゐたのであるからこの根源を除かなければアメリカの經濟界は立直ることが出來ない。そこでルーズヴエルト大統領がこの根本の病患を除かうとして世界經濟會議に乘り出したものと見える。即ち世界の經濟を安定しそのアメリカ商品に對する購買力を復活するため、その結果となつてゐる戦債賠償問題を解決し時と場合に依つては更にアメリカの資本を借しつけてその復活を助成すること、特にアメリカ商品の輸出を容易ならしむる爲、戦後に於て生じた各國の高い關稅の障壁を低めて優秀なる經濟的地位を獲得した譯である。

斯く外國投資の回收、並びに戦時中及び戦後に得た莫大債權の元利の支拂から、從來は輸出超過國であつたにもかゝわらずアメリカにはゾクゾク資本が流入して來てニューヨークは戦前に於けるロンドンに代り世界金融の中心地となつた。

併し戦爭後に集まつて來た資金を外國に投資する冒險心をアメリカ人にはなく、又實際に世界の政局が安定しなかつたために安全に此のことを爲し得なかつたから、殆ひ、これ等の資金を國内に投資し高い利益をかけて國内市場を外國に對して保護し、アメリカ資本に依るアメリカ市場の利用に依つて經濟的繁榮を世界の窮境の中央に作り出さうとしたのである。

此の政策は内國市場が廣いため初めの段階に於ては或點まで成功し、フーヴアー景氣を現出した譯であるが、間もなく、國内市場は飽滿の域に達して不景氣に轉向することゝなつた。

併し最初はこの情勢を緩和する爲に長期間の信用賣りの方法に依り、一時、產業の杜絶を除かうとしたのであるが、結局それは貸倒れとなる外なかつた茲に於て金融恐慌に屬する限りは、一時政府が低利資金を交付してこれを沈靜せしめるとが出來たが、金融恐慌に屬する限りは、一時政府が低利資金を交付してこれを沈靜せしめるとが出來たが、

だが、元々この金融恐慌の根底に、アメリカの市場をのみ目標としてゐては生産過剩に落ち込ると云ふ狀態が存在してゐたのであるからこの根源を除かなければアメリカの經濟界は立直ることが出來ない。そこでルーズヴエルト大統領がこの根本の病患を除かうとして世界經濟會議に乘り出したものと見える。即ち世界の經濟を安定しそのアメリカ商品に對する購買力を復活するため、その結果となつてゐる戦債賠償問題を解決し時と場合に依つては更にアメリカの資本を借しつけてその復活を助成すること、特にアメリカ商品の輸出を容易ならしむる爲、戦後に於て生じた各國の高い關稅の障壁を低めて優秀なる經濟的地位を獲得した譯である。

斯く外國投資の回收、並びに戦時中及び戦後に得た莫大債權の元利の支拂から、從來は輸出超過國であつたにもかゝわらずアメリカにはゾクゾク資本が流入して來てニューヨークは戦前に於けるロンドンに代り世界金融の中心地となつた。

併し戦爭後に集まつて來た資金を外國に投資する冒險心をアメリカ人にはなく、又實際に世界の政局が安定しなかつたために安全に此のことを爲し得なかつたから、殆ひ、これ等の資金を國内に投資し高い利益をかけて國内市場を外國に對して保護し、アメリカ資本に依るアメリカ市場の利用に依つて經濟的繁榮を世界の窮境の中央に作り出さうとしたのである。

此の政策は内國市場が廣いため初めの段階に於ては或點まで成功し、フーヴアー景氣を現出した譯であるが、間もなく、國内市場は飽滿の域に達して不景氣に轉向することゝなつた。

併し最初はこの情勢を緩和する爲に長期間の信用賣りの方法に依り、一時、產業の杜絶を除かうとしたのであるが、結局それは貸倒れとなる外なかつた茲に於て金融恐慌に屬する限りは、一時政府が低利資金を交付してこれを沈靜せしめるとが出來たが、

又、豫め金の分配制度を停止してアメリカの世界金融界に於ける優勢なる地位の保證となつてゐる多額の金を依然として保持し乍らインフレーション政策、それに基いた爲替の低落に依つてアメリカの商品の價格を低め、輸出の便を計つたのである。

斯くの如きアメリカの經濟界立直し政策施策の爲に世界經濟會議が開かれたのであるが、必ずしも他國がアメリカの云ふところに盲從するものとは思へない。

そこでアメリカは他の列强の同意を求める爲に戦債問題をかつぎ出してその棒引きの交換條件とせんとしてゐる。又この戦債の棒引きを同時にアメリカの世界政局に於る地位の向上の爲に利用して他の列强の爲に、それに依つてアメリカ及び他の列强の財政的負擔を輕減し、同時にアメリカの商品の販賣に對して有利な條件を作ろうとしてゐる。

自分は世界經濟會議の意義を前述の如く解釋する者であるけれども、必ずしもその會議が成功するものとは思へない。

何となれば、それは主としてアメリカの經濟的政治的利益を目標として世界の政局、特に世界經濟界を安定せしめんとするのであるから、必ずしも他の列强の利益とはならない。而してアメリカの唯一の切札である戦債の棒引きと云ふことは既に歐洲の列强、特にフランスが獨乙から賠償を得た限りに於てこれを支拂ふことを決意し且つかゝる原則を實施し得る實力を持つてゐるのであるから、單純なることを止めたあらゆるものから驚くべき速かさを以て離脱しつつ」(從つてその前にあらゆるものから自分を敎へるものを悉く

寄贈圖書

▲滿蒙パンフレット・ニュース十四輯　滿蒙研究所
▲國際知識　五月號　國際聯盟協會
▲新刊月報　五月號　東京出版協會
▲英米文學アメリカ文學　特輯號　五十錢　立教大學英文學會
▲創作戲曲　創刊號二十錢　其社
▲エスキス　豫・三・B・其同人
▲英語青年　四月一日、十五日號
▲セルバン　五月號　十錢　第一書房
▲鑑塔　五月號　十錢　其社
▲初等解析幾何學及び方考へ方解き方、藤原良夫著　一圓六十錢　考へ方社
▲社會學徒　五月號　二十五錢　其社
▲滿蒙パンフレット・ニュース第十五、十六輯　滿蒙研究所

廣告

カレッヂアンよ、諸賢が朝も晩も御愛用の
ライオン齒磨は何と諸賢の
明い御生活に重要なる役を演じつゝある事よ!

SERPENT
セルパン
皆樣ノテイー・ルーム
落著ケル感ジノヨイ
池袋銀座通り

美津濃の靴と文具

衛生本位
阪田理容館
池袋雷電通角

御不用ノ本ヲ御持チ下サイ
高ク買ヒマス
……●……
トキハ通リノ
トキハ書店

新綠の初夏
高島屋の替ズボン
電話大塚三二四八
TAKASHIMAYA TAILOR

Rikkyoites'
TEA AND MEAL
MIKASA
Kissa—yokocho, Ikebukuro

開店御披露
池袋で最初の店
毎日曜日
特賣品半額デー!
(特賣品名ハ當日掲示イタシマス)
フルーツ・パーラー
藤屋
店の料理、氣分、サービス等については何卒忌憚なき御批評を・・・
池袋驛西口正面

メダル
徽章
カップ賞
牌
立教大學御用
川手徽章製作所
東京市淺草區西三筋町番一

親愛ナル哉||諸君||
此の超サービス振を見給へ
一度御拜顏の榮を是非賜りたし……
ウエマツ質店
電話大塚(86)四〇六番
敬正道路昭和湯裏

眼科專門
一般眼疾
視力檢査
整形眼科
診察時間　午前八時より午後九時まで
東京女醫專　醫學士　新井敏
池袋二〇八五番地(池袋驛より約七分)

近日開店!
優勝の生活は營養專一
而して價は安く・カロリー高き
上方風釜めし　(吸物付き)三十錢
小茶手料理も致します
特種珍カツ　(御飯付き)二十五錢
營養ランチ　十錢
池袋立大通り　一品香

學生皆樣に多大のおほめを戴き誠に嬉しく存じて居ります今後共より以上の特別なるサービスを設備致す考へですからどうぞ……
喫茶店　ミチル
池袋喫茶橫丁

皆樣の
蕎麥　あさひや
壽司
御集合は階上にて
池袋驛西口敬正通
電大塚86二七八〇

近代スポーツ流行と共に現代喫茶の味覺殿堂と皆樣より池袋第一と御定評ある純喫茶ニツポンへ
池袋代表的
純喫茶　ニツポン
(池袋西口昭和湯橫入ル)

May—18th—24th
モダンで!シイクな皆樣の泰明座
金色夜叉の
間貫一
中野英治・中野かほる子
岡田時彦・鈴木澄子
—近日公開—
錢形平次捕物控
復讐鬼
嵐寛壽郎
泰明座
TAIMEIZA　OTSUKA